

「地域課題分野」（平成29年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
総合土砂管理計画の立案に資する実用的解析技術の開発と那賀川大規模置き土事業による将来土砂動態の解明	阿南工業高等 専門学校 長田 健吾	A
<研究概要> 長安ロダム（那賀川）では堆砂対策として置き土量を現在の約2 倍に増量する日本最大級の置き土事業が計画されている．置き土の増量とその粒径変化が下流河道に与える影響を予測することが重要課題となっている．本研究では，那賀川大規模置き土事業による長期・広域の将来土砂動態を推定できる実用的な簡易平面二次元解析法を開発する．本解析法を用いて置き土増量，粒径変化と下流川ロダムが土砂動態に与える影響や，土砂堆積による治水懸案箇所について明らかにする．		
<事後評価指摘事項> A評価のためコメントなし		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとはいえない。